

# 「広報しもつけ」アンケート結果について

問い合わせ先  
総合政策課  
☎(32) 8886

平成30年3月下旬に、市民

生活においてお知らせしなればならない項目をまとめた、広報しもつけ「保存版」を市内全戸（2万2千世帯）に配布し、併せて広報紙に関するアンケート調査を実施しました。

アンケートは、広報紙の入手方法や記事内容、表現などについての質問で、4千6百世帯（回収率21%）の方に協力いただきました。

広報紙は、市民の皆さんに情報をお伝えする大切な手段であり、大きな役割を担っています。

合併して12年が経過し、市民の皆さまが、広報紙についてどのような意見をお持ちなのか再確認し、今後の広報紙づくりに生かしていきたいと思えます。

その結果の一部と今後の対応をお知らせします。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

## 入手方法について

広報しもつけの入手方法についての質問では、85.3%の世帯が自治会を通して受け取り、集合住宅等の管理人などを通して受け取っている世帯が2.9%、公共施設やコンビニで入手されている世帯が合わせて2.5%、入手していない世帯が6.3%となりました。

## 入手していない理由について

全体の6.3%に該当する広報紙を入手していない世帯のうち、16.6%はホームページで必要な情報を入力しており、35.9%は広報紙の必要性を感じていないと答えています。

このことから、広報紙を入手していない方の約半数は広報紙を必要としていないということが分かります。

その一方で、60世帯（全体で1.3%）が広報紙を必要としているが、取りに行くことができないという世帯でした。

## 今後、希望する配布方法について

今後、希望する配布方法については、77%の世帯が「現状のままでよい」と回答しており、多くの方が現在の状況に満足していることが分かります。また9.0%の世帯は個別配布を希望すると回答しています。

全体の85.3%を占める自治会加入世帯の多くが、現在の配布方法を望んでいることや経費の面を考えると、現在の方法で今後も配付し、集合住宅の管理人等に今後も広報紙配布についてご協力をいただけるよう働きかけていく必要があります。

## 情報を入手できない方への対応について

生活するうえで困らない106世帯、公共施設に取りに行けない60世帯、合計166世帯（3.6%）以外の9.4%の世帯は、何らかの形で市からの情報を入手していることが分かりました。

また、新たに市民生活ガイドブックを作成し、全戸配布します。市民生活ガイドブックには、広報紙の配布場所や郵送送付について、自治会への加入促進についてを掲載し、さらに多くの皆さんに広報紙を読んでいただけるようにお知らせしていきます。

## 内容について

どの程度ご覧になっていませかの質問に対しては、「ひととおり読んでいる」という世帯が70.3%、「興味のある所だけ読んでいる」という世帯が20.1%となり、合わせると90.4%の世帯が広報紙を読んでいます。

生活に役立っていますかの質問には、「とても役立っている」23.0%、「時々、役立つ」60.9%と合わせて83.9%となり、多くの方が広報紙を読み、生活に役立っていることが分かりました。

満足度は「非常に満足している」が5.6%、「満足している」が33.9%、「ふつう」が48.7%で、合わせて88.2%。読みやすさについては、「非常に読みやすい」が4.6%、「読みやすい」が28.8%、「ふつう」が53.2%で、合わせて86.6%。情報の量につ

いては「ふつう」が66.9%、「少し多い」が13.8%、「少し足りない」が3.6%で、合わせると84.3%でした。これらの結果から多くの世帯では、広報紙に不満を感じていないことが分かりました。これは、配色や文字の大きさ、文章の表現についても同様でした。

## 分かりやすく、見やすい紙面を目指して

市民の多くの方が現在の広報紙に不満を感じてはいないようですが、とても良いやとても満足しているとの意見は少ないことから見直しを行い、満足していただける紙面を目指す必要があることが分かりました。

今後とも市民の皆さまに分かりやすく、必要な情報を確実に届けられる紙面づくりを心掛け、必要とされる「広報しもつけ」を目指していきます。

